



市報 まつうら No. 57
平成26年12月1日発行

108

編集発行／松浦市まちづくり推進課秘書広報係
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地
福島町からは：47-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsura.jp>

PROFILE

のぶひろ
池野 信広さん (写真左)
星鹿町川原辺田に住む 42 歳
妻、4人の子ども（一男三女）の
6人家族
趣味はスポーツとおいしいものを
食べることに



■今月の表紙

10月26日に行われた水軍まつりのパレードの後に踊られた“恋するフォーチュンクッキー 松浦党 ver”の様子。参加者たちは初めての試みに、終わった後やり遂げて安心し、満足そうな表情で互いにハイタッチなどをして喜んでいました。

○職業・仕事内容

星鹿町でギフトショップまごころ堂を開業し、2年目を迎えます。冠婚葬祭におけるお客さまの悩み事にアドバイスをしながらか、贈り物を通して「ありがとう」の気持ちを伝えるお手伝いをしております。

○目標・夢

ギフトとは「モノ+ヒト+ココロ」の気持ち詰まったコミュニケーションツールの一つだと考えます。

私は松浦が大好きです。松浦は、おいしい食べ物や心癒される風景、強さと優しさを持つ人間力が魅力的な町です。

そういった松浦の「モノ+ヒト+ココロ」をわが子も含め市内の子どもたち、そして、未来に産まれてくる子どもたちに「大好きなまち松浦」をギフトとして残し、継承していきたいと思っています。

※次は、大橋尚生さん（御厨・西木場）にバトンタッチ！

■人の動き

※（ ）は、前月との比較

人口	24,445
	(-16)
男	11,710
	(-15)
女	12,735
	(-1)
世帯数	10,264
	(3)

住民基本台帳から

※制度改正により、外国人住民も住民基本台帳に登載されるようになりました。

平成26年11月1日現在

■編集室から

先月、御厨小学校で行われた「いのちの講演会」の取材で、阪神淡路大震災で妹を亡くした加藤いつかさんの講演を聞きました。「突然、大地震がきたらどうする…」「どうやって命を守る…」「明日もいつもの生活が続くかどうか分からへんよ…」と問い掛けるように参加者へ話をする加藤さん。その一言一言は、震災での苦難を乗り越えてきた経験と教訓に基づくものでとても重く、災害に対して自分がいかに無防備であるかを強く感じました。

講演の最後には、御厨小・中学校と参加した児童生徒に「はるかかひまわり」の種が贈られました。復興のシンボルとなったこのひまわりには、震災の教訓と命の尊さを伝えたいという思いが込められています。毎年夏になると学校の花壇などで元気に咲いたひまわりを見て、誰もが防災への意識と命の大切さを再考するきっかけになればと思います。

いのち



イラスト (健)

いよいよ開通間近！ 西九州自動車道 山代久原・今福間



古紙100%再生紙

この広報紙は環境と自然保護のため再生紙（100%）を使用しています。